

## 平成 21 年度当初予算の概要をお知らせします

今年度は市長選挙があるため、当初予算は骨格予算（政策的な経費を除いた予算編成）となっております。したがって、選挙後に政策的経費を増額する肉付予算編成が予定されております。

さて、今年度の一般会計予算の総額は 406 億 800 万円です。また、特別会計予算の総額は 227 億 4,406 万 1 千円、企業会計予算の総額は 31 億 8,824 万 9 千円となりました。

これまで取り組んできました行財政改革は一定の成果をあげることができましたが、直一層の努力は必要だと考えております。しかし、国内の深刻な不況による国の景気対策に則り、できるだけ積極的に事業に取り組めます。

### 【歳入】

昨今の経済情勢から市税は減収となる見込ですが、地方交付税の増額交付や臨時財政対策債（後年度に交付税措置されるもの）により補っています。

### 【歳出】

行財政改革プランに基づき、今年度から弥生保育所及び弥生保育所分園の運営を民営化します。さらに本匠西保育所と本匠東保育所を統合し、新たな保育所を整備することとしております。また、職員給料や管理職手当のカットを引き続き実施し、人件費の抑制を図ります。

社会資本の整備としましては、鶴岡小学校校舎等の大規模改修事業や城西団地立替事業、道路整備事業等を景気対策を兼ねて実施します。

防災対策では、上浦地域及び鶴見地域に、津波情報を瞬時に伝達する防災スピーカーを設置する防災システム整備事業に要する経費を計上しております。これにより、佐伯市内における津波浸水想定地域すべてにこの防災スピーカーが設置されることとなり、本市の防災体制がより強化されます。

その他にも雇用対策、少子化対策、観光対策等々の諸事業に積極的に取り組んでまいります。